

# やさしい 原子力のはなし

293

## 紫外線も仲間！

「シミ・シワの原因」と言われる紫外線が、気になる季節になりました。実はこの紫外線、一年中、晴れた日も雨の日も空から降り注いでいます。葉風やコンドニエンスストアで年中、日焼け止めクリームが売られているのは納得ですね。

「美肌の大敵」の紫外線ですが、悪いことばかり

ではありません。例えば私たちの骨の成長に必要なビタミンDは、紫外線を浴びることで体内につくられます。普段の食事でもキノコや魚からビタミンDは摂れますが、ある程度日光に当たって紫外線を受けることで健康な骨には必要です。

ところで気づかないけど毎日浴びている紫外線が「放射線の仲間」ってご存じですか？「放射線」と聞くと「原子力発電所」を思い浮かべるかもしれませんが、私たちが生まれるずっと前から地球が誕生した時からすでに存在していました。放射線は宇宙からだけでなく、大地や空気、食べ物などからも出します。目に見えないから気づか

ないだけで、とても身近な存在です。「知らない」ことを「知る」ことで、見ている世界が広がることもありませぬ。「放射線を正しく知ることが「放射線と上手なお付き合い」ができる一歩になるかもしれません。



作りに挑戦した。地域のつながりが薄れつつあることから、まず私たちの連携から探り、大内御堀地区町づくりグループ(古屋正長)が企画。元山口大学教育学部教授の佐藤さんが指導した。

参加したのは地域の学生ら約30人。5班に分かれ最初は炭火のお餅の方にチャレンジ。次はツトケーキ粉と水を混ぜ合わせて箸で練り込め、炭火で回転させながらくまを数回繰り返す。粉と水の分量加減が難しく、表面が凸凹になり、目にもうが出来るまで子どもたちは懸命でしたが、それでも嬉しかけてごんがりと嬉まがった。

「御堀子ども会待合ルームケーキ」の出来がりは、大型の竹輪をくりのものをりふわふわは言い難いもありと様々だが、子どもたちは自作のバームクーヘンに大満足。「おいしー！」と頬張ながら「まー作りたーい！」とまずまずの来は、えらった。

## 地域の広場でバームクーヘン作り

大内御堀の小学生が3月27日、地域の広場でバームクーヘン



バームクーヘン作りを楽しむ小学生たち

## 山口市とパンプローナの2小学校

### 英語を通じた交流協定



パートナーシップ協定を結んだあとと今後の抱負を話す山口大付属小の寺田陽那乃さん(6年生)

英語を通して学校間の相互交流を促進する学術連携パートナーシップ協定の締結式が3月29日、山口市役所であった。

協定は山大教育学部付属山口小学校(山口市)とサン・ファン・デ・ラ・カテナ小学校(スペイン・パンプローナ市)で締結式はスペインとのオンラインで行われた。山口市とパンプローナ市はサビエル来山は歴史的背景もあり約40年間姉妹都市

交流が続いている。山口大付属山口小の吉備修校長が「サビエル記念聖堂の鐘の音は市民から愛されている。子どもたちが英語でお互いの意思を伝え合えたら、カテナ小のゴンデミ校長はパンプローナ市の山公園に近く同小学校は紙芝居教育を取り入れ、日本語が身近にあることあいさつ。事前に相手校が署名した協定書に自校の署名押印をした。

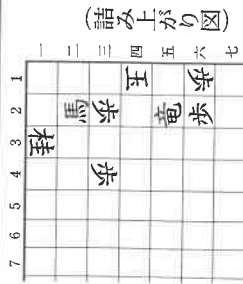
児童代表の寺田陽那乃さん(6)は「スペインのフェルナンド選手のスケートは素晴らしい。いつかお互いのまを訪問してみたい」とスキニ・ミヤウ・アカリさん(6)は「私の母は日本人。父はパンプローナ出身。両国の文化を結ぶ協定に参加でき嬉しい」と共に英語で話した。

今後は英語を活用した定期的なオンライン交流などで直接会話をすることで語学力の向上を期待したいとしている。

### 人材育成で連携

下関市大と中等学校、下関市立大と山口県立下関中等教育学校は、2017年度から取り組んでいるキャリア教育や人材育成などの強化を図るため、このほど協定を結んだ。中等教育学校生の同大学1日体験ゼミの訪問。同大学教員の出張講義などで連携を深めることとしている。

### 将棋解答



解答 1.三桂成・同玉・二三角・1.二玉・1.二角成・1.三玉・1.二馬引・

1.四玉・1.五馬・同玉・3.五竜・1.四玉・2.五竜まで  
【解説】初手2.三馬や、いきなり1.五馬捨てでは準備が足りません。捨てては捨てるが手筋です。同玉の一手に持ち駒の角を打ます。5.馬4捨てから早速みず解す。7.手目2.二馬引が正解で、2.三馬行たと詰みません。9.手目の馬捨てが決め手です。同玉の手に龍を移動して仕上ります。(角含和郎)